

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	210	「岐阜の宝もの」認定委員謝金
旅費	330	「岐阜の宝もの」認定委員、職員旅費
委託料	8,414	PRツール制作、プロモーション等
合計	8,954	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあるれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
- ④ 観光産業の基幹産業化

(2) 国・他県の状況

「岐阜の宝もの」は岐阜県独自の事業である

(3) 後年度の財政負担

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、今後も継続する

(4) 事業主体及びその妥当性

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

SDGsの理念に即した新たな認定基準に基づく取組を進めることにより、「岐阜の宝もの」を本県のサステイナブル・ツーリズムを牽引する観光資源としてブラッシュアップするとともに、その魅力を国内外に発信し、誘客促進及び観光消費額拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
観光消費の経済波及効果						%
観光入込客数（実数）						%
外国人延べ宿泊数						%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>新たな「岐阜の宝もの」選定に向け認定委員会を開催し、候補資源の現地調査を実施するとともに、新たな認定基準について協議した。</p> <p>SDGsの理念に即した新たな認定基準を設定し、それに基づく新たな「岐阜の宝もの」の選定や、ブラッシュアップの取組を支援することで、本県を代表する観光資源の底上げにつながっている。</p>
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>コロナ禍において世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県がアフターコロナにおける「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムの観点による「岐阜の宝もの」等の磨き上げが不可欠。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>認定委員会（有識者）による現地調査や、新たな認定基準についての協議など、本県のサステイナブル・ツーリズム推進に向け着実に事業を進められている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>コロナ禍において、認定委員会のオンライン開催や、現地調査の内容を凝縮するなど、臨機応変かつ効率的に実施できた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光地づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成</p>
--

(次年度の方向性)

<p>引き続き、新たな認定基準に沿った「岐阜の宝もの」等のブラッシュアップの取組を支援するとともに、新たな「岐阜の宝もの」のプロモーションを展開する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	